

施策25 災害に強いまちづくり

施策における目標

ハード・ソフト両面での災害に強いまちづくりを推進します。

施策概要

土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤の整備及び民間建築物への耐震診断助成や災害防止指導の実施。

想定される主な取り組み

- ・民間建築物の耐震診断に対する支援を行う。
- ・市内の建築物の耐震化を高めるため、建築物の耐震改修の促進を図る。
- ・市民との協働による防災まちづくりの取り組みを進めるため、防災まちづくりのリーダーとなる人材を育成し、地域における防災意識の高揚を図る。
- ・市民の防災意識の高揚を図り、地域住民による防災組織の整備など、地域の防災まちづくり活動に対する支援を行う。

第2期実施計画における総評

- ・防災機能を高めるためには建築物の耐震化を進めていくことが不可欠であり、建築物の検査済証発行率が上昇していることから、安全な建築物の集積に対し、一定の成果があった。
- ・公共建築物の耐震化については、平成17年度より耐震化計画に基づき順次実施している。
- ・民間建築物の耐震化の推進については、市民の防災まちづくりへの関心の高まりが不可欠であり、平成14年度に実施した「災害危険度判定」結果の公開や、出前説明会等によって啓発に努めてきたが、今後も市民との協働により防災まちづくりを推進し、民間建築物の耐震化を進める必要がある。
- ・河川改修や急傾斜地崩壊対策区域の排水施設の整備などの防災対策は順次実施しており、今後も計画的に実施していく必要がある。

施策26 災害に備えた危機管理体制の強化

施策における目標

情報通信網や初動体制の整備、関係機関との連携など、災害時に備えた危機管理体制の一層の充実を図ります。

施策概要

災害時における情報の収集・伝達体制、初動体制の確立及び医療体制や緊急物資等の確保、避難場所の整備等の危機管理体制の強化。

想定される主な取り組み

- ・防災情報の伝達手段について、防災行政無線の更新を行う。
- ・緊急放送設備として、コミュニティFM放送(タッキー816)との連携を行う。
- ・非常参集訓練など各種訓練の実施により、初動体制・危機管理体制の充実を図る。
- ・災害時における災害時安否確認や避難支援を円滑に実施するための体制づくりを進める。
- ・国民保護計画の各種マニュアル等の作成を行う。
- ・常備備蓄と併行して、流通備蓄確保のための協定締結を行う。

第2期実施計画における総評

- ・防災行政無線やコミュニティFM放送(タッキー816)による緊急放送設備などにより、災害時の連絡手段を確保するとともに、防災資機材や緊急物資等の確保、避難場所や初動体制の整備等についての取り組みを進めてきた。
- ・災害時の重要な連絡手段の1つである防災行政無線については、老朽化が進んでいるため、代替システムも含めた災害時の情報収集・伝達の手段の検討が早急な課題となっている。
- ・今後も、箕面市地域防災計画に基づき、庁内の組織体制や関係機関との連携など、災害に備えた危機管理体制について一層の強化を図る必要がある。